

平成23年度  
埋藏文化財調査年報

— 国庫補助事業対象分 —

2013年3月

太子町教育委員会

平成23年度  
埋藏文化財調査年報

2013年3月

太子町教育委員会



## 例 言

1. 本報告書は、平成 23 年度に実施した埋蔵文化財調査のうち、国庫補助事業として実施した試掘確認調査の概要報告書である。
2. 調査は、太子町教育委員会が主体となり、同社会教育課文化財係海野浩幸が担当した。
3. 本報告書の執筆・編集は、社会教育課文化財係海野が行った。
4. 遺物実測・トレース等の整理事業は、改発法子・好田美貴が行った。
5. 調査位置図は、太子町作成 1/25,000「太子町全図」(平成 9 年)を 1/30,000 に縮小して、各遺跡のトレンチ配置図は、太子町作成 1/2,500 の地図を使用した。
6. 本報告書の示す標高は、T・P を基準とし、方位は座標北を示す。
7. 本報告書で用いた経緯度は、世界測地系を基準とした。
8. 遺物実測図の断面は、土師器は黒塗りで、須恵器は白抜きでそれぞれ示した。
9. 本報告書に使用した図面・写真は、太子町教育委員会が保管している。



第 1 図 太子町位置図

## 調査体制

【平成 23 年度】

事務局	教育長	寺田寛文
	教育次長	神南隆司
	社会教育課長	井上八郎
	同 副課長	渡辺寧
	同 係長	岡田ひとみ
	同 主査	田淵保紀
	同 主事	水口千佳子
文化財担当	社会教育係長	田村三千夫
	同 主査	三村修次
	同 主査	海野浩幸



調査風景（東保高田遺跡）

# 目次

## 例言 調査体制

I 平成 23 年度調査概要	1
平成 23 年度調査概要	
東保高田遺跡	3
東保遺跡	5
大津茂川床遺跡	7
東保遺跡	9
東南遺跡	11
東保遺跡	13
II 報告書抄録	16

## 挿図目次

第 1 図 太子町位置図	
第 2 図 平成 23 年度調査位置図	2
東保高田遺跡	
第 3 図 トレンチ配置図	3
第 4 図 遺構平面・土層断面図	4
第 5 図 1 トレンチ	4
第 6 図 2 トレンチ	4
第 7 図 3 トレンチ	4
第 8 図 4 トレンチ	4
東保遺跡	
第 9 図 トレンチ配置図	5
第 10 図 土層断面図	6
第 11 図 1 トレンチ	6
第 12 図 2 トレンチ	6
第 13 図 3 トレンチ	6
大津茂川床遺跡	
第 14 図 トレンチ配置図	7
第 15 図 土層断面図	8
第 16 図 1 トレンチ	8
第 17 図 2 トレンチ	8
第 18 図 3 トレンチ	8
第 19 図 4 トレンチ	8

<b>東保遺跡</b>	
第 20 図 トレンチ配置図	9
第 21 図 土層断面図	10
第 22 図 1 トレンチ	10
第 23 図 2 トレンチ	10
第 24 図 3 トレンチ	10
<b>東南遺跡</b>	
第 25 図 トレンチ配置図	11
第 26 図 土層断面図	12
第 27 図 1 トレンチ	12
第 28 図 2 トレンチ	12
<b>東保遺跡</b>	
第 29 図 トレンチ配置図	13
第 30 図 土層断面図	14
第 31 図 出土遺物	15
第 32 図 1 トレンチ	15
第 33 図 2 トレンチ	15
第 34 図 3 トレンチ	15
第 35 図 4 トレンチ	15
第 36 図 5 トレンチ	15

## 表 目 次

表 1 平成 23 年度埋蔵文化財調査一覧表	1
表 2 遺物観察表	15

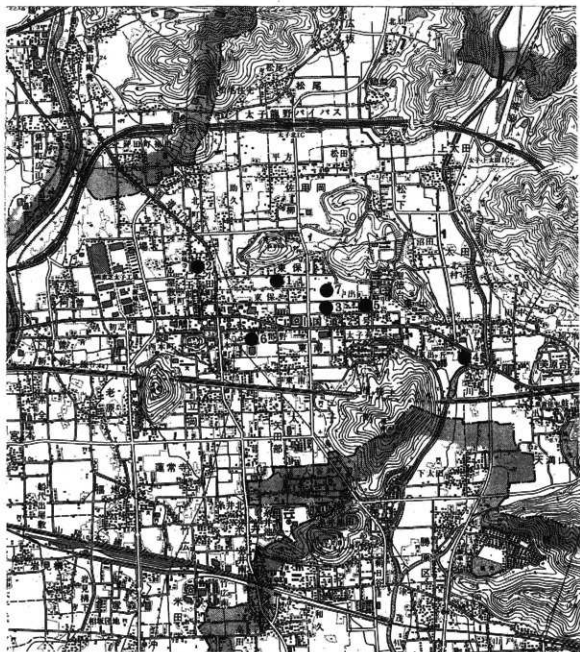
## I 平成 23 年度調査概要

平成 23 年度では、7 件の調査を実施した。その内訳は、民間の開発事業に伴う試掘確認調査が 6 件、公共事業に伴う本調査が 1 件である。そのうち、6 件の民間開発事業に伴う試掘確認調査を国庫補助事業として実施した。

表 1 平成 23 年度埋蔵文化財調査一覧

No.	遺跡名	所在地	事業内容	開発面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査期間	備考
1	東保高田遺跡	東保字宗田	宅地造成 国庫補助事業	1,951.11	50.29	平成 23 年 5 月 16 日 ～ 5 月 25 日	本書掲載
2	斑鳩小学校遺跡	鶯字斑鳩寺	小学校体育館建設 町単独事業	1,284.2	613	平成 23 年 5 月 17 日 ～ 7 月 18 日	未掲載 公共事業
3	東保遺跡	東保字木森	宅地造成 国庫補助事業	1,386.25	30.01	平成 23 年 8 月 3 日 ～ 8 月 8 日	本書掲載
4	大津茂川床遺跡	太田字清水ヶ本	宅地造成 国庫補助事業	2,031.86	40.12	平成 23 年 10 月 17 日 ～ 10 月 21 日	本書掲載
5	東保遺跡	東保字壺丁田	宅地造成 国庫補助事業	1,664.46	30.09	平成 23 年 12 月 5 日 ～ 12 月 9 日	本書掲載
6	東南遺跡	鶯字構ノ内	個人住宅建築 国庫補助事業	250.91	20.04	平成 24 年 2 月 28 日 ～ 3 月 15 日	本書掲載
7	東保遺跡	東保字中ノ壺	造成工事 国庫補助事業	715	50.11	平成 24 年 3 月 14 日 ～ 3 月 28 日	本書掲載





第2図 平成23年度調査位置図(1/30,000)

## 東保高田遺跡

### 1. 遺跡の所在地

摂保郡太子町東保字宗田 113 番 1 の一部 他 3 筆

### 2. 調査機関

摂保郡太子町教育委員会

### 3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

### 4. 調査期間

平成 23 年 5 月 16 日～5 月 25 日

### 5. 調査面積

50.29 m<sup>2</sup>

### 6. 記録作成

土層実測図(1/20)、遺構平面図(1/40)、トレンチ配置図(1/300)

写真記録(デジタルカメラ撮影)

北緯(34 度 50 分 12 秒)、東経(134 度 35 分 2 秒)



第 3 図 トレンチ配置図(1/2,500)

### 7. 調査に至る経過

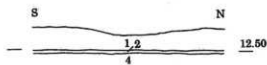
太子町東保字宗田 113 番 1 の一部他 3 筆において宅地造成工事が計画され、造成予定地は周知の埋蔵文化財である東保高田遺跡の包蔵地内に位置することから、遺構及び遺物包含層の有無の確認を目的に確認調査を実施した。調査地の現況は、標高 12.70m 前後を測る休耕田である。

### 8. 調査の概要

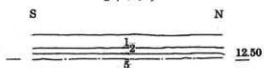
調査は、2×5m のトレンチ 4 箇所を設定して実施した。調査地の基本土層は、上層から耕土(14～20cm)、明黄橙色～黄橙色土・床土(4～10cm)、茶褐色土(18cm)で黄褐色土ないし淡褐色砂質土の地山となっている。遺構は、1 トレンチで長径 50cm、短径 40cm、深さ 12cm を測る時期不明のピット 1 基を検出した。遺物は、1 トレンチのピット及び各トレンチとも出土はなかった。

### 9. まとめ

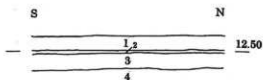
調査の結果、時期不明のピット 1 基を確認するとどまった。遺物の出土も無く、今回の調査地点は、東保高田遺跡の縁辺部に位置するものと考えられる。



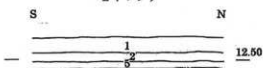
1トレンチ



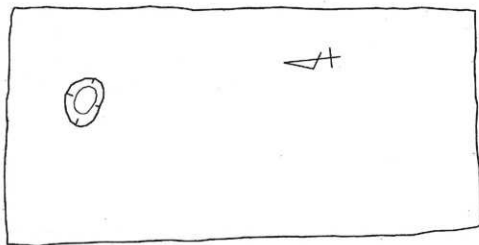
3トレンチ



2トレンチ



4トレンチ



1トレンチ

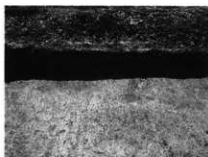
1. 耕土
2. 黄褐色土・床土
3. 茶褐色土
4. 黄褐色土・地山
5. 淡褐色砂質土・地山



第4図 遺構平面・土層断面図



第5図 1トレンチ(北より)



第6図 2トレンチ



第7図 3トレンチ



第8図 4トレンチ

## 東保遺跡

### 1. 遺跡の所在地

摂保郡太子町東保字木森 398 番 1 他 1 筆

### 2. 調査機関

摂保郡太子町教育委員会

### 3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

### 4. 調査期間

平成 23 年 8 月 3 日～8 月 8 日

### 5. 調査面積

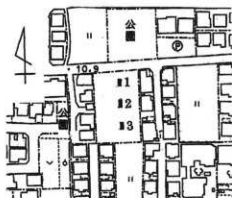
30.01 m<sup>2</sup>

### 6. 記録作成

土層実測図(1/20)、トレンチ配置図(1/250)

写真記録(デジタルカメラ撮影)

北緯(34 度 50 分 5 秒)、東経(134 度 35 分 19 秒)



第 9 図 トレンチ配置図(1/2,500)

### 7. 調査に至る経過

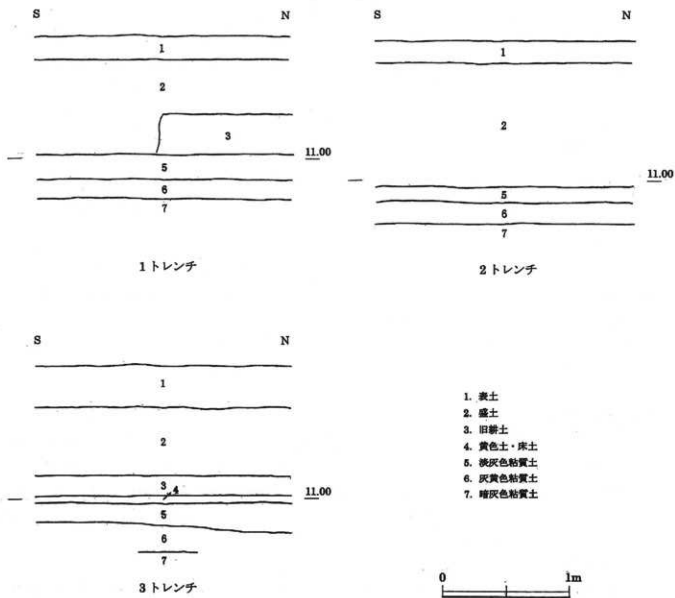
太子町東保字木森 398 番 1 他 1 筆において宅地造成工事が計画され、造成予定地は周知の埋蔵文化財である東保遺跡の包蔵地内に位置することから、遺構及び遺物包含層の有無の確認を目的に確認調査を実施した。調査地の現況は、標高 12.10m 前後を測る造成地で、現在は畑として利用されている。

### 8. 調査の概要

調査は、2×5m のトレンチ 3 箇所を設定して実施した。調査地の基本土層は、上層から表土(20～32cm)、盛土(46～100cm)、旧耕土(16～34cm)、黄色土・床土(6cm)、淡灰色粘質土(12～24cm)、灰黄色粘質土(16～24cm)で暗灰色粘質土となっている。最下層の暗灰色粘質土については、ボーリングステッキによる検索の結果、1m 以上の厚みを持つことが確認された。各トレンチとも遺構及び遺物包含層は検出されず、遺物の出土も無かった。

### 9. まとめ

調査の結果、今回の調査地点では東保遺跡に関連する遺構及び遺物包含層は確認されず、遺物の出土もなかった。



第10図 土層断面図



第11図 1 トレンチ



第12図 2 トレンチ



第13図 3 トレンチ

# 大津茂川床遺跡

## 1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町太田字清水ヶ本 2223 番 1 他 2 筆

## 2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

## 3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

## 4. 調査期間

平成 23 年 10 月 17 日～10 月 21 日

## 5. 調査面積

40.12 m<sup>2</sup>

## 6. 記録作成

土層実測図(1/20)、トレンチ配置図(1/250)

写真記録(デジタルカメラ撮影)

北緯(34 度 49 分 51 秒)、東経(134 度 36 分 0 秒)



第 14 図 トレンチ配置図(1/2,500)

## 7. 調査に至る経過

太子町太田字清水ヶ本 2223 番 1 他 2 筆において宅地造成工事が計画され、造成予定地は周知の埋蔵文化財の包蔵地内ではないが、周知の埋蔵文化財である大津茂川床遺跡の北東に近接することから、遺構及び遺物包含層の有無の確認を目的に試掘調査を実施した。調査地の現況は、標高 8.10m 前後を測る水田である。

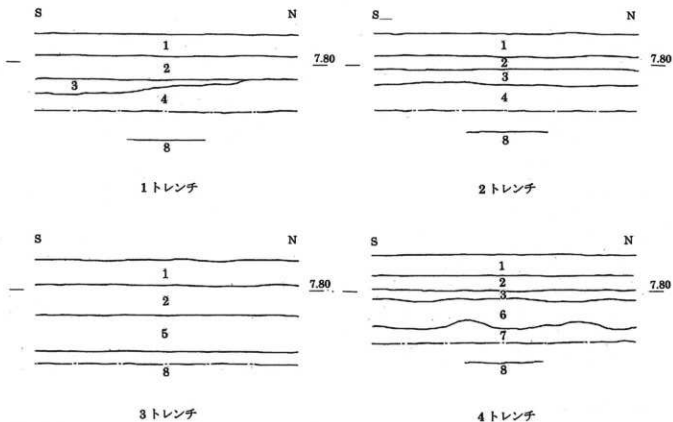
## 8. 調査の概要

調査は、2×5mのトレンチ 4 箇所を設定して実施した。調査地の基本土層は、上層から耕土(16～20cm)、黄灰色砂質土・床土(10～22cm)、灰色粘質土(8～10cm)、黒色粘質土(40～50cm)、暗灰色粘質土混じり淡灰色粘質土(40cm)、暗灰色粘質土(20cm)、淡灰色粘質土(30～36cm)で灰色砂となっている。

各トレンチとも遺構及び遺物包含層は検出されず、遺物の出土も無かった。

## 9. まとめ

調査の結果、大津茂川床遺跡に関連する遺構、遺物包含層は確認されず、遺物の出土もなかった。土層の観察から、今回の調査地点は大津茂川の旧流路の一部にあたると思われる。



- |              |                    |
|--------------|--------------------|
| 1. 礫土        | 5. 暗灰色粘質土混じり淡灰色粘質土 |
| 2. 黄灰色砂質土・床土 | 6. 暗灰色粘質土          |
| 3. 灰色粘質土     | 7. 淡灰色粘質土          |
| 4. 黒色粘質土     | 8. 灰色砂             |



第15図 土層断面図



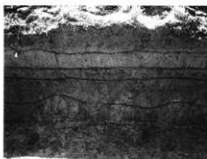
第16図 1 トレンチ



第17図 2 トレンチ



第18図 3 トレンチ



第19図 4 トレンチ

## 東保遺跡

### 1. 遺跡の所在地

摂保郡太子町東保字壹丁田 498 番 1 他 1 筆

### 2. 調査機関

摂保郡太子町教育委員会

### 3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

### 4. 調査期間

平成 23 年 12 月 5 日～12 月 9 日

### 5. 調査面積

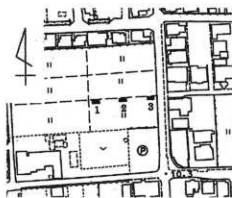
30.09 m<sup>2</sup>

### 6. 記録作成

土層実測図(1/20)、トレンチ配置図(1/250)

写真記録(デジタルカメラ撮影)

北緯(34 度 50 分 5 秒)、東経(134 度 35 分 30 秒)



第 20 図 トレンチ配置図(1/2,500)

### 7. 調査に至る経過

太子町東保字壹丁田 498 番 1 他 1 筆において宅地造成工事が計画され、造成予定地は周知の埋蔵文化財の包蔵地外であるが、周知の埋蔵文化財である東保遺跡の東に隣接することから、遺構及び遺物包含層の有無の確認を目的に試掘調査を実施した。調査地の現況は、標高 10.30m 前後を測る休耕田である。

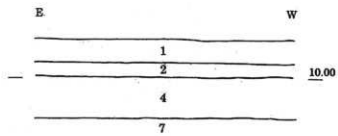
### 8. 調査の概要

調査は、2×5m のトレンチ 3 箇所を設定して実施した。調査地の基本土層は、上層から耕土(20～24cm)、明灰色粘質土・床土(10cm)、暗灰色粘質土(34～44cm)で明黄色粘質土・地山となっているが、東端に設定した 3 トレンチでは、耕土(24cm)、黄灰色粘質土・床土(6cm)、明灰色粘質土(24cm)で黒灰色粘質土となっている。各トレンチとも遺構及び遺物包含層は検出されず、遺物の出土も無かった。

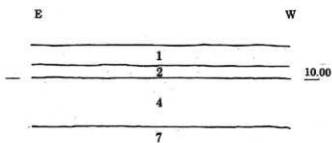
### 9. まとめ

調査の結果、東保遺跡に関連する遺構、遺物包含層は確認されず、遺物の出土もなかった。今回の調査地点まで、東保遺跡の範囲が及んでいないことが確認された。

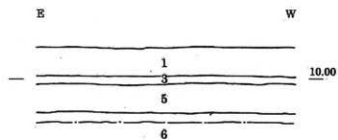




1トレンチ

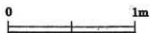


2トレンチ



3トレンチ

1. 耕土
2. 明灰色粘質土・床土
3. 黄灰色粘質土・床土
4. 黒灰色粘質土
5. 灰色粘質土
6. 暗灰色粘質土
7. 明黄色粘質土・地山
8. 暗青灰色粘質土



第21図 土層断面図



第22図 1トレンチ



第23図 2トレンチ



第24図 3トレンチ

## 東南遺跡

### 1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町鵜字橋ノ内 7番1 他1筆

### 2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

### 3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

### 4. 調査期間

平成24年2月28日～3月2日

### 5. 調査面積

20.04 m<sup>2</sup>

### 6. 記録作成

土層実測図(1/20)、トレンチ配置図(1/250)

写真記録(デジタルカメラ撮影)

北緯(34度49分56秒)、東経(134度34分51秒)



第25図 トレンチ配置図(1/2,500)

### 7. 調査に至る経過

太子町鵜字橋ノ内7番1他1筆において個人住宅新築工事が計画され、建築予定地は周知の埋蔵文化財である東南遺跡の包蔵地内に位置することから、遺構及び遺物包含層の有無の確認を目的に確認調査を実施した。調査地の現況は、標高13.20m前後を測る更地である。

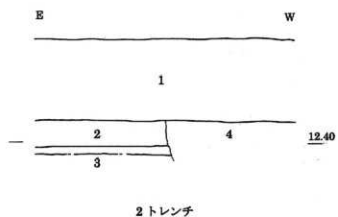
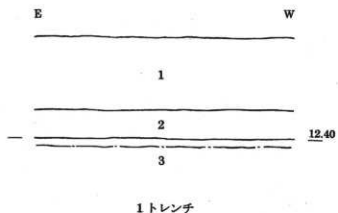
### 8. 調査の概要

調査は、2×5mのトレンチ2箇所を設定して実施した。調査地の基本土層は、上層から盛土(60～65cm)、旧耕土(20～24cm)で黄褐色土の地山となっている。

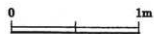
各トレンチとも、遺構、遺物包含層は検出されなかったが、2トレンチで現代の瓦粘土探掘土坑の攪乱を検出した。遺物は、2トレンチの瓦粘土探掘土坑から須恵器と近世陶磁器片各1点が出土しただけである。

### 9. まとめ

調査の結果、今回の調査地点では東南遺跡に関連する遺構、遺物包含層は確認されなかった。また、調査地は周辺部の調査成果と同様に、瓦粘土探掘に伴う攪乱を受けていることも判明した。



- 1. 盛土
- 2. 耕土
- 3. 黄褐色土・地山
- 4. 攪乱土(土取跡)



第26図 土層断面図



第27図 1トレンチ



第28図 2トレンチ

## 東保遺跡

### 1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町東保字中ノ壺 444 番 1

### 2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

### 3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

### 4. 調査期間

平成 24 年 3 月 14 日～3 月 28 日

### 5. 調査面積

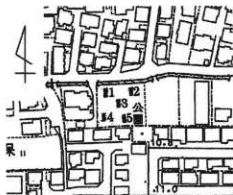
50.11 m<sup>2</sup>

### 6. 記録作成

土層実測図(1/20)、遺物実測図(1/1)、トレンチ配置図(1/250)

写真記録(デジタルカメラ撮影)

北緯(34 度 50 分 9 秒)、東経(134 度 35 分 19 秒)



第 29 図 トレンチ配置図(1/2,500)

### 7. 調査に至る経過

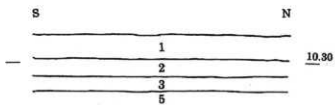
太子町東保字中ノ壺 441 番 1 において造成工事が計画され、造成予定地は周知の埋蔵文化財である東保遺跡の包蔵地内に位置することから、遺構及び遺物包含層の有無の確認を目的に確認調査を実施した。調査地の現況は、標高 10.50m 前後を測る畑地である。

### 8. 調査の概要

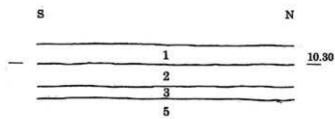
調査は、2×5m のトレンチ 5 箇所を設定して実施した。調査地の基本土層は、上層から耕土(14～20cm)、黄色土・床土(5～20cm)、淡灰色粘質土(14～22cm)、暗黄灰色粘質土(14cm)で黒灰色粘質土となっている。各トレンチとも、遺構・遺物包含層は検出されなかったが、4 トレンチと 5 トレンチの淡灰色粘質土より土師器片と須恵器片が出土しただけである。

### 9. まとめ

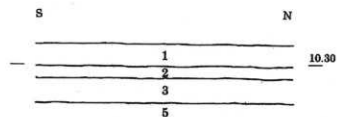
調査の結果、今回の調査地点では東保遺跡に関連する遺構、遺物包含層は確認されなかったが、4・5 トレンチから、流れ込みと考えられる若干の遺物が出土した。



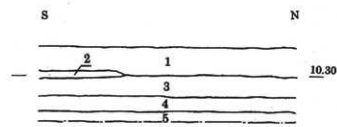
1トレンチ



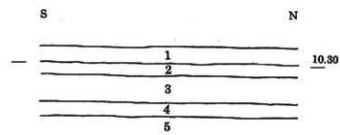
2トレンチ



3トレンチ



4トレンチ



5トレンチ

- 1. 粉土
- 2. 黄色土・床土
- 3. 淡灰色粘質土
- 4. 暗黄灰色粘質土
- 5. 黒灰色粘質土



第30図 土層断面図



1. 土師器 (4トレンチ)、2. 須恵器 (5トレンチ)

第31図 出土遺物



第32図 1トレンチ



第33図 2トレンチ



第34図 3トレンチ



第35図 4トレンチ



第36図 5トレンチ

表2 遺物観察表

番号	遺跡名	出土地点	掘削 図解	遺物番号	法 量(cm)			焼成	色 調	胎 土	調 整
					口径	器高	底径				
1	東陽遺跡	4トレンチ	土師器 皿	1102-1-1	7.8	1.0	4.6	灰+	外 TAYIKH 地味 内 TAYIKH 地味	黒	外ナデ 内ナデ
2	"	5トレンチ	須恵器 鍋	1102-2-1		2.5		良好	外 N7 灰白 内 N7 灰白	砂褐色	外ナデ 内ナデ

## 報告書抄録

ふりがな	へいせい23ねんど まいぞうぶんかざいちょうさねんぼう
書名	平成23年度 埋蔵文化財調査年報
副書名	一 国庫補助事業対象分 一
巻次	
シリーズ名	太子町文化財資料
シリーズ番号	第79集
編著者名	海野浩幸
編集機関	太子町教育委員会
所在地	〒671-1561 兵庫県揖保郡太子町鷺 1369-1 Tel.079-277-1017
発行年月日	西暦 2013年3月31日

遺跡名		東保高田遺跡				
所在地		兵庫県揖保郡太子町東保字宗田				
コード		北緯東経	調査期間	調査面積(m <sup>2</sup> )	調査原因	
市町村	遺跡番号	34° 50' 12"	134° 35' 2"	2011・5・16	50.29	宅地造成
450010	450079			~5・25		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
東保高田遺跡	集落跡	弥生・古墳	ピット1基			

遺跡名		東保遺跡				
所在地		兵庫県揖保郡太子町東保字木森				
コード		北緯東経	調査期間	調査面積(m <sup>2</sup> )	調査原因	
市町村	遺跡番号	34° 50' 5"	134° 35' 19"	2011・8・3	30.01	宅地造成
450010	450078			~8・8		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
東保遺跡	集落跡	古墳				

遺跡名		大津茂川床遺跡				
所在地		兵庫県揖保郡太子町太田字清水ヶ本				
コード		北緯東経	調査期間	調査面積(m <sup>2</sup> )	調査原因	
市町村	遺跡番号	34° 49' 51"	134° 36' 0"	2011・10・17	40.12	宅地造成
450010	450091			~10・21		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
大津茂川床遺跡	散布地	縄紋・弥生				

遺跡名	東保遺跡					
所在地	兵庫県揖保郡太子町東保字壹丁田					
コード	北緯	東経	調査期間	調査面積(㎡)	調査原因	
市町村	遺跡番号	34° 50' 5"	134° 35' 30"	2011・12・5	30.01	宅地造成
450010	450078			～12・9		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
東保遺跡	集落跡	古墳				

遺跡名	東南遺跡					
所在地	兵庫県揖保郡太子町鶴字構ノ内					
コード	北緯	東経	調査期間	調査面積(㎡)	調査原因	
市町村	遺跡番号	34° 49' 56"	134° 34' 51"	2012・2・28	20.04	個人住宅建築
450010	450081			～3・2		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
東南遺跡	集落跡	縄紋・弥生・中世		須恵器・近世陶磁器		

遺跡名	東保遺跡					
所在地	兵庫県揖保郡太子町東保字中ノ壺					
コード	北緯	東経	調査期間	調査面積(㎡)	調査原因	
市町村	遺跡番号	34° 50' 9"	134° 35' 19"	2012・3・14	50.11	宅地造成
450010	450078			～3・28		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
東保遺跡	集落跡	古墳		土師器・須恵器		



平成23年度 埋蔵文化財調査年報

---

発行日 平成25年3月31日

発行 太子町教育委員会

兵庫県揖保郡太子町鶴1369-1

電話 079-277-1017

印刷 株式会社協和印刷

